

平成22年度一般会計補正予算(第7号)賛成多数で可決

一般会計予算補正額

// 補正後

4億3、791万6千円
153億3、328万7千円

国民健康保険特別会計

36億1、708万4千円

下水道事業特別会計

9億8、437万8千円

12月定例会は、3日から21日までの19日間開催され、一般質問には20名登壇しました。

一般会計補正予算については、①住宅用太陽光発電システム設置補助金②予防接種事業(子宮頸がん予防ワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン・Hibワクチン)③地域共生ステーション推進事業補助金④重度心身障害者医療補助事業⑤更生医療給付費⑥大豆被害対策事業⑦森林環境保全整備事業⑧農地・農業用施設災害復旧事業⑨林道施設災害復旧事業⑩学校給食共同調理場建設事業などが提案され、委員会などで慎重審議され可決されました。

その質疑については、下記の内容でありました。



学校給食共同調理場建設予定地(横武クリーク公園西側駐車場)

主な質疑・答弁

神埼市過疎地域自立促進計画の策定について

Q 100円宅地に入居された方で転出された方はいるのか。また、子ども達がそのまま継続して住んでおられるのか。

A 現在のところ5団地・62世帯ありますが家族全員の転出はありません。大学を卒業されれば就職で転出されることが想定されます。

Q 産業の振興として農業等で何を重点的にもってこようとしているのか。

A 今後においても自然を壊さないようなものができる企業誘致を考えていきたい。

Q 過疎対策は全国的な問題で特に集落機能維持が今後一番の課題であり、集落のあり方など関係団体を含めて支援についてどのようにするのか。

A 集落への支援については、実施計画策定に当たって協議させていただきたい。

主な質疑・答弁

一般会計補正予算（第7号）について

総務企画部関係

- Q** 市債繰上償還について、高金利既往債の公的資金や縁故債（銀行・農協からの借入れ）の残高は。
A 平成22年度末の一般会計所管の地方債の残高見込みは161億円である。

市民福祉部関係

- Q** 住宅用太陽光発電システム設置費用は、どれ位かかるのか。
A 平成22年度で設置された平均単価は、1kw当り58万4千円。平均出力が4.4kwである。
- Q** ヒブワクチンと小児用肺炎球菌ワクチンは年齢により接種回数が違うが、効果的な接種間隔はどれくらいか。
A ヒブワクチンは0歳児の場合、初回から3回目までは4～8週間空けることになっている。肺炎球菌ワクチンは、1回目～3回目までは27日間空け、3回目以降は60日以上空けることとなっている。
- Q** 子宮頸がんワクチンの接種対象が高校1年生までとなっている理由は。
A なるべく早いうちにとされているので、高校1年生までで性行為がないうちとなっている。
- Q** 認定子ども園には、幼稚園型・幼保連携型などあるが、現行の保育所や幼稚園とどのように違うか。
A 幼保連携型は認可保育園と認可幼稚園が連携して1つの経営を行うこと。幼稚園型は認可幼稚園が保育に欠ける子ども達のための保育所的な機能を備えたものである。

教育委員会関係

- Q** 学校給食共同調理場は、合併特例債を投資して建設するので、給食開始時期について3地区で足並みを揃えるべきではないか。
A 当面は神崎校区と千代田校区で統合する。現在の脊振校区の自校方式は、地産地消や施設の衛生面などにおいては、本来神崎市が目指している給食形態であるが、一刻も早く、3校合わせた均衡のとれた給食が提供できる環境を整えたい。
- Q** 学校給食共同調理場設計にあたり、教育委員会で先進地の視察等を行ったのか。
A 長崎県松浦市、熊本県人吉市及び長州市へ視察に行き、それを参考に見学スペースや研修室も備えている。

国民健康保険事業特別会計について

- Q** 1ヶ月あたりの医療費の自己負担限度額はいくらか。
A 一般の方は、80,100円、上位所得者の方は150,000円、住民税非課税世帯の方は35,400円、それ以上の分については神崎市が高額療養費として支払っている。

下水道事業特別会計について

- Q** 浄化槽維持管理費の修繕料の増加内容は。
A 今年の夏の猛暑で、維持管理の業者からブロアーの故障が続々と報告された。